

閉会挨拶

ただいま紹介がありました、運輸総合研究所 専務理事で
アセアン・インド地域事務（AIRO）所長の奥田でございます。

本日は、物流シンポジウム『インドネシアにおける効率的な
物流の構築を目指して～海 ASEAN における物流の改善～（パート 2）』をオンライン形式で開催いたしましたところ、大変多くの皆様にご視聴いただきまして、ありがとうございました。

また、開会挨拶でもございましたけれども、当初、本シンポジウムはインドネシア・ジャカルタの会場とオンラインのハイブリッド形式での開催を予定しておりましたが、諸般の状況を踏まえまして、オンライン形式での開催に変更させていただきました。急な変更にもかかわらず、皆様にご対応いただけましたことに、心より御礼を申し上げます。

また、開催にあたりまして、インドネシア共和国インフラ地域開発調整府、経済調整府、運輸省、インドネシア商工会議所、ジャカルタ・ジャパン・クラブ、都市地方政府研究所をはじめ、多くの皆さまにお力添えを賜りました。あらためて感謝申し上げます。

本日のシンポジウムは、インドネシアを中心とする海 ASEAN 地域の物流の課題に関し、皆様との共通理解を得ることを目的に開催をさせていただきました。

イスマリニー経済調整府次官補代行、ブディ・マントロ運輸省海運総局 海上交通・海運局長からは、インドネシアの物流の課題と今後インドネシア政府として取り組む施策の方向性についてご講演をいただき、また、寺田国土交通審議官からは、日本から見たインドネシアの物流、物流の効率化・高度化に向けた取組、コールドチェーンの普及に向けた取組についてご講演いただきました。

その後、都市地方政府研究所・所長のバンバン・スサントノ先生をモデレーターとするパネルディスカッションにおいて、日本とインドネシアの産業界及び学术界で本日のテーマに関する最前線に立っておられる皆様から、インドネシアの物流の強みと改善点、今後取り組むべき課題などについてのお考えを伺い、最後にバンバン先生より議論をまとめていただきました。バンバン先生、またご講演・ご登壇を賜りました皆様、誠にありがとうございました。

本日のご議論を踏まえまして、インドネシアの物流改善に向けまして、引き続き私ども AIRO と日本・インドネシアの関係者の皆様との間で継続的な検討枠組みを構築いたしまして、議論を続けていければと考えております。日本及びインドネシアの関係者の皆様、特に本日ご出席の皆様方に置かれましては、引き続きのご支援を賜ればと存じます。

私ども AIRO は、東南アジア地域・南アジア地域における交通、運輸、観光の分野における様々な課題につき、皆様のお役に立てますよう、今後とも活動を行って参りますので、引き続きまして、皆さま方のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。